

第35卷・第1号 昭和28年5月15日第三種郵便物認可

昭和62年1月1日(毎月1回1日発行)

牧草園藝



1

1987

社 是

創業以来、『農業奉公』の社是を通じて、お役に立とうと真剣な努力を重ねてまいりました。

より良き種子の開発、採種、流通

より効率的な飼料の研究、製造、供給

農地の地力培養と土壤の保全

人々の生活の場へ花と緑の提供

これらの具体化に必要な技術普及も含めて、今後も会社をあげ誠意をこめ、地道な研鑽と工夫を続けてまいります。



明けまして おめでとうございます。

1987年の新春を迎え、皆々様のご健勝とご発展を心より祈念し、併せて今年も相変わらぬご愛顧とお引立てを賜りますようお願い申し上げます。

〈新たな波を迎えて〉

わが国が国際社会に復帰してはや42年、国民の努力の成果が年ごとに向上した今日、経済大国としてすばらしい発展を遂げ、しかも平和で自由な国家としてこんなに繁栄するとは、戦後の混乱期に誰もが想像することができなかつたものと思います。

この日本経済発展のかけには、それを支える食糧の生産、国民のエネルギーとしての食糧確保をすすめた日本農業の力、特に酪農畜産の発展を忘れる事はできません。狭い国土を有効に利用し、優れた農業技術とたゆまぬ努力が実を結び、需要に応えて、今や日本農業の中でも重要な産業に成長してまいりました。

しかし最近の激動する内外情勢により、わが国農業にも新たな大波が押し寄せております。

年ごとに多様化する食生活と農畜産物の需要の変化、変転する世界の食糧生産や諸外国からの農畜産物の市場開放要求が高まるなど、かつてない厳しい環境にあります。

これらの諸々の難関をのりきるには、長期的な視野でコストダウンと国際競争力の強化が大きな課題としてあげられます。日頃皆様の築き上げた技術力、生産力、装備は世界の水準にあり、もう一步の工夫と意欲でこの荒波を克服して、わが国農業、酪農畜産の新しい時代をつくることができるものと確信いたします。

雪印種苗は、種苗・飼料の研究・開発・生産・供給を通じて、皆様のご期待に応えるべく努力を重ねてまいります。引き続き厳しい農業環境が予測されますが、農業経営の強化、コストダウンのお役にたつよう、技術と誠意をこめて、ことしも「牧草と園芸」誌を皆様にお届けいたします。

昭和62年元旦

代表取締役社長 山本 稔